

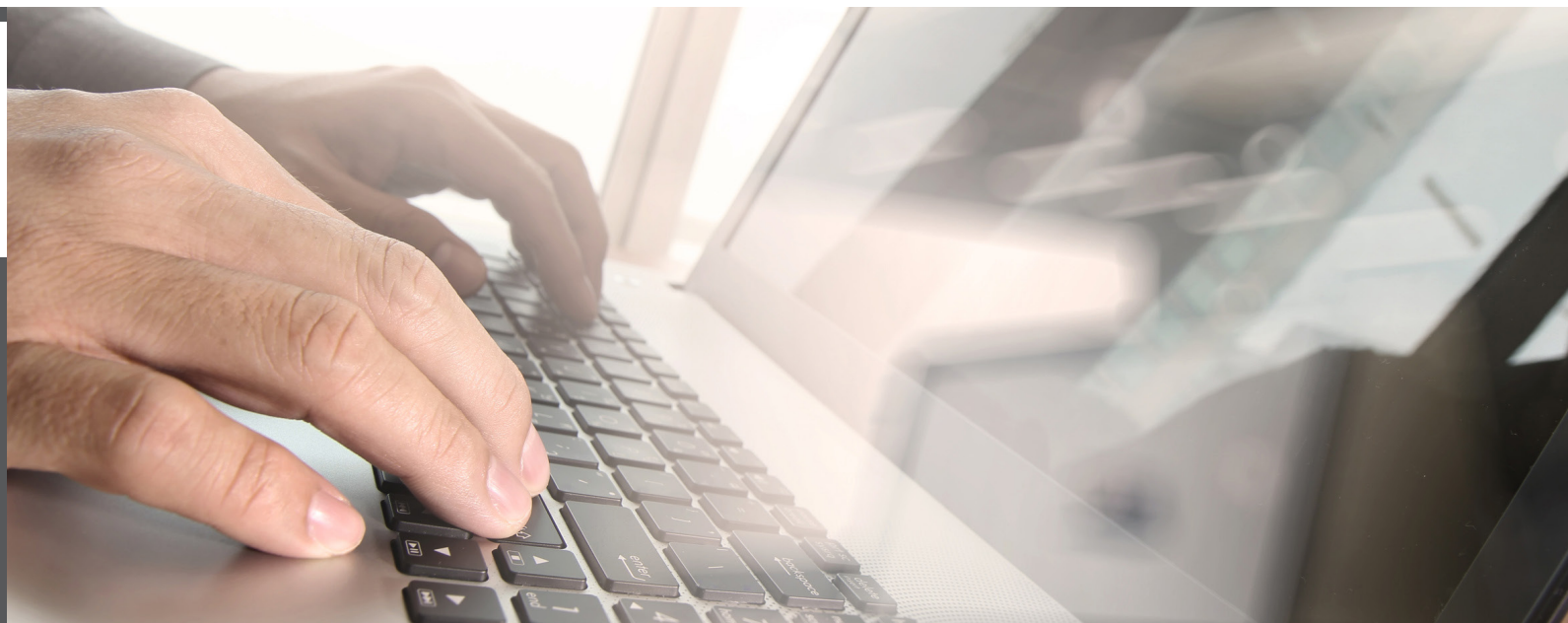
KfW Bankengruppe、フォームプロセスを効率化

Adobe Experience Manager Formsを活用して、フォーム内のデータを他のアプリケーションと直接やり取りできる最新プロセスを導入



「Adobe Experience Manager Formsがあれば、社内フォームのインテリジェント化や標準化にすぐに取り組みます」

Oliver Bröker (KfW Bankengruppe、
特定ソフトウェア／プロセスツール
部門チームリーダー)



ソリューション

Adobe Marketing Cloudに含まれる
・ Adobe Experience Manager Forms

成果



スマートPDFフォーム

既存のMicrosoft InfoPathフォームをAdobe Experience Manager Forms対応のフォームに1対1で変換



利便性の向上

フォームとMicrosoft Excelやバックエンドシステム間のデータ転送を自動化することで、利便性を高め、エラーを削減



標準化されたプロセス

フォームプロセスの標準化によって、ITサポートの必要性を減らし、長期的なコストを削減



コラボレーション

KfWとパートナーの強力なチームワークによって、短期間で自動フォームへの移行を実現

KfW Bankengruppe

設立:1948年

職員数:5,518人(2014年)

フランクフルト(ドイツ)

www.kfw.de

FORMATIX GmbH

www.formatix.de

課題

- ・重要な社内フォームの互換性の問題を解消したい
- ・企業全体で利用できる、信頼性の高いスマートフォームを作成したい
- ・社内でのフォームの取り扱いや処理を容易にしたい
- ・フォームのエラーを最小限に抑え、処理速度を向上させたい
- ・ITサポートのコストを削減したい

Adobe Experience Manager Formsを標準とすることで、フォームの利便性が向上し、ITサポートの必要性が減少し、最終的にコストを削減できます」と、Müller氏は語ります。

Oliver Müller (KfW Bankengruppe、特定ソフトウェア部門プロダクトマネージャー)



インテリジェントフォーム

KfW Bankengruppeの歴史は、ドイツの経済発展と密接にリンクしています。KfWは、1948年に復興のための金融機関として設立されて以来、先駆的な取り組みや改革の助成を使命として、ドイツ国内にとどまらず、ヨーロッパや世界各国で活動を行っています。

設立以降の提供資金の総額は1兆3,000億ユーロを上回ります。フランクフルト本社に加えて、ベルリンとボンに支社があり、傘下にはDEG、KfW IPEX-Bank、FuBという子会社があります。KfWのバランスシートの資産総額は4,891億ユーロ(2014年)にのぼり、世界最大の国土開発銀行であるとともに、ドイツで3番目に大きい銀行です。KfWの職員は、世界各国の70以上の都市で活動しています。

KfWの顧客取引ではフォームが大きな役割を果たしています。社内でも数百に及ぶフォームが使用され、職員向けイントラネットで公開されており、その種類は出張費やイベント開催の申請書、マスターサプライヤーのデータ保守依頼など、多岐にわたります。

「これまではフォーム管理が一元化されておらず、各部門がそれぞれ独自のテンプレートを作成しています」と、KfW Bankengruppeの特定ソフトウェア／プロセスツール部門チームリーダーを務めるOliver Bröker氏は語ります。しかし、最近になって新しい要件が生まれました。Adobe Marketing Cloudを構成するソリューションの一つであるAdobe Experience Manager Formsを活用して、社内全体で利用されるフォームの大部分をPDFに移行するプロジェクトがスタートしたのです。それに伴い、同銀行のPDFフォームにインテリジェントな機能が徐々に追加されています。このプロジェクトは、ハンブルグのFormatix GmbHの専門家チームのサポートを受けて進められています。



Oliver Müller (KfW Bankengruppe、
特定ソフトウェア部門プロダクトマネージャー)

ソリューション概要

- ・ Adobe Experience Managerの主な利用機能：
- ・ Forms

詳細情報

www.adobe.com/jp/marketing-cloud/enterprise-content-management.html

www.adobe.com/go/aemforms_jp

www.adobe.com/jp/marketing-cloud.html



Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com/jp

一元化によるサポートコストの削減

KfW Bankengruppeでは、社内フォームの作成に様々なテクノロジーが使われています。各部門はExcel、Word、SharePoint、InfoPathなど様々なMicrosoftアプリケーションを使用してフォームを作成、共有しており、Adobe Acrobatも使用しています。ところが、Office 2010へのアップグレードに伴い、InfoPathフォームに互換性の問題が生じるようになりました。「そこでこれを機に、現状の課題に対してもっと良い解決策を探すことになりました」と、KfW Bankengruppeの特定ソフトウェア部門プロダクトマネージャーであるOliver Müller氏は語ります。

フォームの機能に問題が生じれば、ビジネスが混乱するだけでなく、ITサポートの強化も必要になります。代替手段を探す中で、KfWのマネージャー陣はAdobe Experience Manager Formsを見つけました。「このプロジェクトは一刻を争いました。マスターサプライヤーのデータ保守フォームが完全には信頼できなくなっていたからです」とBröker氏は語ります。

アドビのソリューションに決定してからわずか3週間で、フォームシステム専門のソリューションパートナーFormatix GmbHが、KfWの社内全体で使用されている50のフォームをPDF化しました。これらのフォームには、同じロジックと統一されたデザインが適用されています。同時に、この新しいフォームにはインテリジェンス機能が初めて組み込まれました。例えば、フィールドに入力された値の一貫性を確認したり、フォームの入力が終わると自動的に電子メールを送信する機能などが追加されました。

そのうちのひとつはさらに進化し、特定ソフトウェア製品の予算管理ができるインテリジェントフォームになりました。これはPDFフォームとExcelを連携させたもので、表のデータをフォームに読み込み、フォーム内で選択することができます。担当の職員が予算を計算し、必要に応じて調整を行うと、その値がExcelに書き戻されます。

「この仕組みは、業務品質の向上や、データの手入力に伴うミスの減少につながります。Adobe Experience Manager Formsを標準とすることで、フォームの利便性が向上し、ITサポートの必要性が減少し、最終的にコストを削減できます」と、Müller氏は語ります。

将来的には、Adobe Experience Manager Formsを活用してより複雑なワークフローをサポートし、バックエンドシステムとの統合のような、従来は困難だった機能を実現していく予定です。例えば、発注が一定の予算を超えた場合に、注文供給プロセスに自動でフラグを立てるような仕組みが検討されています。また、PDFフォームをKfWのサービス管理ツールに統合し、従来は手作業で行っていた承認済み注文の転送プロセスを自動化する計画もあります。

「Adobe Experience Manager Formsには様々な可能性があり、まだその可能性を探り始めたばかりです。Adobe Experience Manager Formsがあれば、社内フォームのインテリジェント化や標準化にすぐに取り組みます」とBröker氏は語ります。